

十二月四日に、永源寺温泉八風の湯へいってきました。バス旅行といっても、近くの温泉地などで、簡単な食糧会といった雰囲気のものですが、皆さんからは、けっこう好評をいただきました。バスは定員いっぱいでした。

楽しく語り合ったり、風景を見ながらゆめゆめりとバスに揺られて、ゆったりとした時間の流れを体験できるのも、また楽しみの一つと思います。

楽しい語り、おいしい食事、そして温泉にたっぷり、仲間の輪を広げ、



楽しい食事

山田学区

社協だより

第71号

山田学区
社会福祉協議会

お一人暮らし高齢者

バス旅行

親睦を図ることが出来ました。このように、地域や仲間の絆が繋がりが広がっていく、これがまさに山田学区社協の目指しているところなのです。

栄光の架け《橋・箸》研修

二月六日、山田学区でボランティア活動をしている仲間の三七名が、仲間の架け橋となる「はし渡し」の「箸」作りを、小浜市の小浜食文化館、若狭工場で行ないました。

お互いに活動の形は違えども「感じている思いは同じ」という共感を大切に、互いの団体同士の連携強化の架け橋となる研修を実施しました。

毎日、なげなく使っている「お箸」は生活に密着しているばかりではなく、その人の生き方や日常生活の習慣までも表しています。

ボランティアも

地域に密着した活動であり、その人の人生観に大きく影響しています。

こんな思いで、自らの「お箸」を作り、これを家で使う際、



箸づくり

一緒に作った仲間を思つ「はし渡し」となるような「一品」と思い出」を作りました。

午後は、ボランティア活動の先進地研修として、小浜市社会福祉協議会を訪問し、常務理事の豊永真誠様から「ボランティア活動で大切にしたいこと」のお話しをお聞きしました。

講師の豊永様が、多くのボランティア活動を立ち上げ、同時に地域でいろいろな活動をされている既存の団体に呼びかけ、共に進んでいくことが大切だとも語られています。

も、一歩一歩とステップアップして実施されていることに感銘を受けました。

講師から我々にいただいたメッセージを掲げておきます。



小浜社協 豊永常務理事の講演

また、一つの目標に向かって、何か年の計画の

賛助会員紹介

草津市社会福祉協議会賛助会員の募集をさせていただきました。二九年度、山田学区

ふれあいサロン

二月二日、草津市立なごみの郷で高齢者ふれあいサロンを開催いたしました。ここ数年は約八十名と多くの方に集まっていたいております。

午前中は、高齢者の交通安全全ということで、草津警察署からお話しいただきました。お腹話術や寸劇で、楽しく聴かせていただきました。

車は、時速六十キロメートルで走ると一秒間に十七メートルも進みます。ですから六メートルの道を六秒かかって渡ろうとすると、車は一〇メートル以上遠くでないと危ないとの事です。

夜は、大変見にくいですが、「自分が」



腹話術による交通安全講

私の好きなメッセージ

実力の差は努力の差、実績の差は責任感の差
人格の差は苦勞の差、判断力の差は情報の差
真剣だと知恵が出る、中途半端だと愚痴が出る
いい加減だと言いつつばかり
本気であるから大抵のことはできる
本気であるから何でもできる
本気でしているから誰かが助けてくれる

小浜市社協・豊永様からのメッセージ

では 三十社(名)の皆様からご協力をいただきました。この会費は草津市社会福祉協議会の活動に有効に活用させていただきます。

ここに、前回の社協だよりに引き続き、山田学区の賛助会員さまをご紹介申し上げます(敬称略・順不同)
キャンノンマシナリー(株)

編集後記

今年度は山田学区社会福祉協議会が活動を始めて六十年となりました。この長い年月、学区の皆さんが、地域福祉の向上を目指して、絶え間ない努力をしていただいた、たまものと思います。



三月も中ごろになりますと、つくしが目を出してきます。寒い冬を、土の中でじっと耐えて、どうして、目を出す時期を知るのか、不思議な気がします。



滋賀ハーモニカエコーズの演奏

けて、振り込め詐欺を撃退する機器もありますよとのことでした。

午後は、滋賀ハーモニカ・笑好吹(エコーズ)の皆さんによる演奏を楽しんだり、一緒に歌ったりして楽しい時間を過ごしました。

振り込め詐欺退電話機

振り込め詐欺退電話機器につきましては、警察から一時的に借り受けることもできます。草津警察署生活安全課にご相談ください。ただ、数には限りがありますので、お早めです。

山田学区の医療福祉を考える会議

医療福祉を考える会議は、学区社協をはじめとした地域の代表と、医師会、ケアマネジャー、訪問介護事業者代表、福祉関係行政担当者、市社協と地域包括支援センターなどの専門職が集まり、地域の高齢者の問題について話し合おうという会議です。当学区では、平成25年度から始め、今年で5年目を迎えました。

3月1日(木)に開催した第12回目は、山田学区の高齢者を支える活動のひとつ、「地域支え合い送迎支援事業」を実施しているV・ハナミズキのメンバーにお話しを聞きながら、送迎事業の魅力をみんな語りあいました。



地域支え合い送迎支援事業とは？

移動手段に困っておられる方を対象に、お互いさまの心で支え合う活動です。

私たちの活動は
タクシー感覚ではなく
**人と人との
かかわりあい**



- 事業主体は山田学区社会福祉協議会、実施主体はV・ハナミズキです。
- 利用はあらかじめ、山田学区社会福祉協議会に申請してもらいます。
- ガソリン代として1km7円、そのほかに有料道路通行料や駐車場代も負担いただきます。1人が1月当たり3回以内で利用できます。
- タクシー感覚で、電話をすれば迎えに行くということではできません。

大切にしていること

- 約束時間を守る。外で待っていている場合もあるので、少し早めを心がける。
- 安全運転。同じ経路で行くようにしたり、年に1回は市社協が行う安全運転講習を受講する。また、体調がすぐれない時は無理をしない。不安なときは運転者を変更する。
- 自分でできる事は、自分でしていただく。状態によっては、ドアの開閉・老人車のトランクへの積み下ろしはお手伝い。
- 大体同じ運転手が、同じ人を送迎している。そうすることで、「この前よりも歩き方が危なっかしい」などの変化に気づくことができる。信頼関係も築くことができる。
- 月に1回は定例会議を開催し、メンバー同士で情報共有や悩み事、相談事を話し合っている。

活動を通して出会った、心あたたまるお話し

- 利用される方は終末期の方も多く、送迎を通してその方の人生の生きざまを感じることができる。ご家族に、「ハナミズキにお礼を言っておいてくれ」とことづけて旅立たれた方もいらっしゃった。人の役に立てたという生きがい感が生まれる。
- 病気を抱えながらも、自宅で、自分で生活を続けておられる姿に励まされる。
- 相手の立場に立つ大切さを学べる。



活動の良さを共有しよう！

ハナミズキの活動の話聞き、「もっと聞きたい」「こういうところが素敵だな」ということについて、ハナミズキのメンバーにも各グループに入ってもらい、話し合いました。

《チーム春一番》

- ・地域と利用者さんと顔の見える関係が出来ている(♥5)
- ・その方の体調も気にかけて下さり、定例会議でも情報を共有している(♥4)
- ・ハナミズキの活動は、メンバーの方が役に立てたことを実感されているのがいいね(♥)

《ねずみ大根》

- ・活動自身が素晴らしい(♥14) 🏰
- ・ボランティアさんが同じ精神で、利用者さんと同じ目線で進んでいる(♥6)
- ・スタッフ間のコミュニケーションが良い(何でも言い合える関係)(♥5)



《梅一輪》

- ・活動されている方が、人の役に立つやりがいを持って活動されている(楽しそう)(♥13)
- ・人生経験が豊富な新しい人との出会い(♥6)
- ・利用者さんの気遣いが見える(♥4)

《チームころも》

- ・人間関係ができた上でのボランティア活動が安心(♥8)
- ・同じ人がボランティア→変化に気づいてもらえる(♥7)
- ・ボランティア活動や思いを、次世代が学ばせてもらえる(♥7)



いいね! ♥ しよう

たくさん出てきた意見を聞いて、「その意見、いいね!」と思うものに、いいね!シールを貼って、みんなで共有しました。各グループの意見の後にある(♥)の中の数字は、いいね!が集まった数です。

来年度も、山田の活動を語り合いながら、高齢者の暮らしについて考えていきます